

◆第2陣メールレポート No2

西原先生より

4/5 13:24 「支援の3人とも元気です。福島生協病院からも看護師と保育士と2人が参加してくれています。4日は9時に東京を出て、370キロの道のりを経て、16時前に宮城県塩竈の坂総合病院に着きました。



着いた日は任務はなかったので、七が浜の津波の被災地を視察に行きました。実際に見ると、息を飲む壮絶さでした。まだまだ復興には時間がかかりそうです。5日から支援任務につきました。

午前中は病院の救急担当に参加しました。午前中だけで救急車6台。ただしベッドも満床に近いので対応に苦慮します。

僕はまず電子カルテに慣れるのに四苦八苦しました(笑)午後からは避難所回りに行ってきます。嘔吐下痢が流行っているようです。また報告します。」



★ 支援物資はいったん締め切りました。運送会社に運んでもらいます

本日午前中に支援物資を仕分けして、中身が分かるようにABCDEのマークをつけた紙をはりつける作業をしました。

トラックで輸送するまでもないので、今回は引越しパックで運送会社に輸送してもらうことにしました。7日午前中に引き取りにきて、12日の午前中に全日本民医連の事務所に届ける手はずです。

現地では物流機能も回復してきており、支援物資の輸送は要請があり緊急を要するもの以外はストップすることにします。

◆ 義捐金が200万円をこえました。

4月5日現在、205万7千円となりました。長引く支援になります。今後は支援者派遣の費用としても活用して行く必要がでてくるでしょう。そのために引き続きカンパを訴えましょう。

★ 第3陣支援から、震災救援活動災害補償保険に加入！

第2陣には間に合いませんでしたが、第3陣の支援から民間の保険会社が売り出した「災害活動補償保険」に加入することになりました。もちろん支援そのものは業務ではありませんので、事故があっても労災にはなりません。この保険によって、人身事故の費用補償がつくこととなります。